

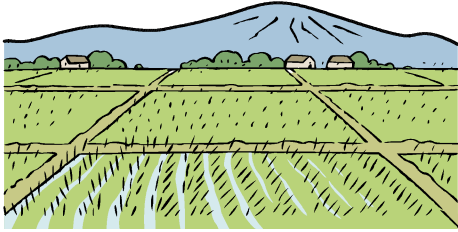
# ① 学校だより

あきる野市立一の谷小学校 校長 遠藤桂一  
平成31年度 5月号

い 命・人権・平和を大切に  
ち 力いっぱいがんばり  
の 伸び伸びと  
た 楽しく活動  
に ニコニコ笑顔の絶えない  
「いちのたに」の子

## 多様性がもたらすもの

4月も下旬となり、平成の時代に終止符が打たれようとしています。



5月1日から元号は「令和」に変わります。この元号には、「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」という意味が込められているとのこと。私たち人間は、様々な感情を抱き、意見や考えをもって日々過ごしています。こうした異なる思いを表現し交換し合うなかで、互いに歩み寄る意識や姿勢をもつことこそが、より良いものを生み出していく原動力の一つとなるのでしょうか。「令和」を、それが意味する世の中にしていくのは、人々の心の多様性と異なる思いを許容することからはじまります。

さて、5月の兆しを感じる頃になると、晩春の日差しを受けて萌えたつ若葉の様々な緑色が、さらにその深みを増してきます。学校周辺の丘陵も様々な緑に彩られています。しかしよく見ると、緑の中に黄色や茶色なども混在しています。緑色のグラデーションに異なる色が混じる色彩の多様性から生じた微細な明暗が、新緑を豊かにし、丘陵に晩春の趣をもたらします。

9連休となったゴールデンウィークが終わると、一の谷小学校では運動会の練習が本格的に始まります。練習を通して、徒競走や団体演技・団体競技など、学年に応じた走力、敏捷性、筋力、柔軟性などの運動機能にかかわる力を身に付けていきます。また、団体競技や応援を行うに当たり作戦を考えたり、係活動に際して準備や工夫をしたりする活動を通して、協力すること、同調して動くこと、リーダーシップをとること、自主的に動くことなど、様々な側面からの意識も育ちます。

さらに、練習や準備に際しては、順調に進むこともあれば、そのときの体調等により思うように体が動かなかったり、意見や考え方の違いから活動が一時停滞したりすることもあります。こうした、「壁や課題」を一つ一つ乗り越えていく過程で、子供たちはさらに力を付け意識を高めていきます。

一つの行事への取組みが、子供たちに多様な力を身に付け意識を育て、成長をもたらします。

新元号「令和」に寄せて、学校教育と子供たちの成長を考えると、多様性を認め、生かしてゆくことの大切さを痛感します。

令和元年5月を迎えるに当たり、本校教職員一同、子供たち一人ひとりの成長を願い指導を充実させていきます。

変わらぬご支援、ご協力をお願いいたします。

遠藤桂一

